

「トトロの森」はみんなの森 1991年8月／「トトロの森第一号地」誕生

自分たちの暮らすまちを知ることは、社会科学学習の基礎です。身近な森などを守る取り組みは、地域のなりたちを知り、長い長い年月に思いをはせる第一歩となります。

ツタンカーメンのなぞ 1922年11月／ツタンカーメンの墓発見

古代文明の謎には子どもも大人もワクワク！ 魅力あふれる歴史上の人物伝を読んだり、地理的な特徴を調べたり、文字解読に挑戦したりと、好奇心に応じて学びも広がるでしょう。

笑顔に乗せて象列車出発！ 1949年6月／名古屋へ象列車運行

象列車運行後も台東区子供議会は「上野に象を！」という活動を続けます。熱い願いを知ったインドのネール首相が、1949年9月に上野動物園に象を寄贈。子どもたちの活動はついに実を結びました。

しっぽをなくしたイルカ 2004年12月／人工尾びれのイルカ、ジャンプ成功

フジをもう一度泳がせてあげたいと力を合わせた、違う分野で働く専門家たち。みんながフジを助けたと同時に、みんなもフジから大切なことを教えてもらいました。

九十五年前の恩返し 1985年3月／トルコ航空、イラン在留邦人救出

はるか昔、日本の海で難破したトルコ船を必死に救助した日本人たち。その恩を語り継いだトルコの人たち。一方的な見返りを求めることが多くなりがちな現代社会に、一石を投じてくれるエピソードです。

アホウドリがよみがえる日 1999年12月／アホウドリ千羽まで復活

アホウドリは鳥島などを繁殖地とし、太平洋を数千キロも回遊しています。一種の生きものへの興味は、さらに仲間の種へと広がり、生物多様性や野生動物保護を考えるきっかけとなります。

津波てんでんこ 2011年3月／東日本大震災

土地に残る言い伝えや先人の知恵の深さが読み取れます。3～4年生の道徳目標は「進んでみんなのために働く」「公德心をもつ」。避難所で生徒たちが自主的に始めた助け合う行動に、大人たちも目をみはりました。

オリンピックのおいしい舞台裏 1964年10月／東京オリンピック

はなやかなスポーツの祭典を支える多くの人たちがいます。「舞台裏」や「縁の下の力持ち」といった言葉から連想するほかの人たちについて考えることも、読書の発展のひとつです。

命のリレー、ドクターヘリ 2001年4月／ドクターヘリ事業、日本で本格開始

4年生の社会科では、人々の健康や安全のために働くさまざまな人や機関について学びます。ドクターヘリがつなぐ命のリレーにも、多くの人たちが携わっています。

はやぶさ、君をわすれない 2010年6月／はやぶさ帰還

3年生の理科ではおもに太陽の動きを扱った「地球と天体」の学習が、4年生では月や星へと発展。天体観測からロケット開発まで、未知の宇宙空間への入り口はいくつもあります。

ハロー、ほくをこわがらないで 1993年6月／エイズウィルス感染者の少年、来日

HIVのおもな感染経路は、①性行為感染、②母子感染、③血液を媒介する感染、この3つです。病気について正しい知識を得ることは、予防だけでなく、病気の人への偏見をなくすことにつながります。

ウシのフン大研究！ 2007年10月／2007年度イグ・ノーベル賞

どんなことでも極めれば学問となります。やっかいものとされていた牛のフンを役立てたいと奮闘した若き研究者の姿は、子どもたちが本来持っている探究心を大きく突き動かしてくれるでしょう。